

平成25年度 事業報告

I 基本方針（基本理念の実現に向けて）

- ◆平成25年度は、指定管理者となっている「ふくしま県民の森」の施設等を活用しながら、東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興支援を果たすことを第一とし、各種事業に取り組んだ。
- ◆公益法人制度改革への対応では、平成25年4月1日より公益財団法人に移行した。
- ◆平成26年度から5年間にわたる「ふくしま県民の森の指定管理者」については、平成25年9月2日に指定申請を行い、平成26年4月1日～平成31年3月31日までの指定管理者の指定(平成25年12月18日 福島県より)を受け、平成26年3月26日付けで「ふくしま県民の森の管理に関する基本協定」を締結した。

II 指定管理者としての「ふくしま県民の森」の管理運営

- ◆東京電力福島第一原子力発電所事故からの影響については、福島県と連携をとりながら、利用者の信頼を得るため、施設内の空間線量などについての定期的な測定と正確な情報提供を行った。
- ◆県内外の様々な組織、機関等と連携し、「ふくしま県民の森」の利用者増を図るための事業を行った。
- ◆「ふくしま県民の森」利用者に対し、満足度を高めるような施設整備を行うとともに、プログラムや情報提供などを行った。

1 県委託料による施設・緑地管理

施設の高規格化、老朽化等への対応

- ビジターセンター（灯油地下タンク浸水箇所修繕、ボイラー室温水ポンプ修繕更新、温泉前廊下天井雨漏り点検工事、エレベーター内照明 LED 化、地下階レクチャーホール脇入口木製扉更新）
- オートキャンプ場（除染サイト<県工事>部のビリ入替追加工事、サテライト給湯用配管漏水修繕）
- 森林館（照明 LED 化）

2 オートキャンプ場利用料金による施設管理

施設の高規格化、老朽化等への対応

- ビジターセンター（照明 LED 化、温泉サウナ循環ファン修繕、館内案内サイン更新、宿泊管理システム更新）
- 常設トレーラー（照明 LED 化、トイレユニット修繕更新、故障暖房機の更新、暖房ユニット修繕更新、給湯ユニット修繕更新、網戸修繕更新）
- サテライトハウス（ゴミブース扉修繕、給湯循環ポンプ修繕更新）

原発事故の影響等による対応

- ◆利用各施設における放射線量の定期測定と一般への公表

3 フォレスト・エコ・ライフ推進の事業（H25年度の目標値は財団中長期計画 H25年8月による）

(1) 森林学習施設区域の運営

- ◆震災直後に比べ、本区域への学校等による森林学習の利用は増加したが、震災時の地震の影響から飲料水等の取水量が減少し、復旧していないため、ユースキャンプ場の炊事棟や野外トイレの利用制限を行った。震災前には多くの利用がなされたユースキャンプ場の利用は、野外活動の制約や水不足による施設利用上の制限により、利用者の増加は見込めなかった。
- ◆前年に比べ落ち着きを取り戻したこともあり、年間を通して県内の学校利用は大幅に増加した。

◇森林学習施設区域全体の利用者 単位：人

年度	目標値（人）	実績（人）	達成率（%）
平成22年度	174,400	158,433	90.8%
平成23年度	176,200	8,352	4.7%
平成24年度	178,000	6,789	3.8%
平成25年度	9,500	12,303	129.5%

◇森林館の利用者 単位：人

年度	目標値（人）	実績（人）	達成度（%）
平成22年度	12,180	12,792	105.0%
平成23年度	12,290	2,308	18.8%
平成24年度	12,410	1,624	13.1%
平成25年度	2,500	3,313	132.5%

◇学校団体利用者数 単位:人

年度	目標値(人)	実績(人)	達成度(%)
平成22年度	7,780	10,353	133.1%
平成23年度	7,930	2,534	32.0%
平成24年度	8,080	2,880	35.6%
平成25年度	3,300	5,108	154.8%

(2)オートキャンプ場の運営

- ◆原発事故の影響は平成25年度も継続しているが、宿泊利用、日帰り利用ともに、トップシーズンであるゴールデンウィーク期間中と夏休み期間中の利用は、震災前の平成22年度比の約75%まで回復してきている。その他の月では、震災直前の状態に戻りつつある。
- ◆年間の施設利用者数では、震災直前の平成22年度比約88%、平成23年度(避難者を除く)比約190%となった。これは、利用者の放射能に関する理解が進み、県内の活動に落ち着きが出てきたことや利用者増への取り組みの結果と思われる。
- ◆日帰り温泉利用については、健康面・精神面での温泉の効用などにより、原発事故以前の利用状況を越えるまでとなった。
- ◆財団主催のイベントプログラムへの参加者は、野外活動への回帰や子ども利用が増加傾向にあることから、前年比146%と増加した。
- ◆風評被害にかかる営業損失については、東京電力より損害賠償金として受け入れた。

◇オートキャンプ場の利用収入(実績)

オートキャンプ場利用収入については、前年度比114%となり、施設利用が着実に増加していることの証となった。また震災直前の平成22年度比では92%となり、当年度が復興支援割引を実施していることを考慮すると震災前の状況に近づいたと思われる。

	オートキャンプ場 利用収入 (日帰り温泉収入含む 単位:千円)	備考
平成22年度	71,029	
平成23年度	76,751	内 一般利用収入: 34,659 避難所収入: 42,092
平成24年度	57,092	
平成25年度	65,104	

◇オートキャンプ場の利用者(大人+小人) 単位:人

年度	目標値(人)	実績(人)	達成度(%)
平成22年度	32,650	29,241	89.6%
平成23年度	32,830	13,556	41.3%
平成24年度	33,020	21,806	66.0%
平成25年度	23,300	25,709	110.3%

◇温泉施設の利用者 単位:人

年度	目標値(人)	実績(人)	達成度(%)
平成22年度	14,330	11,683	81.5%
平成23年度	14,400	9,760	67.8%
平成24年度	14,470	13,299	91.9%
平成25年度	13,400	13,598	101.5%

◇イベント・プログラムの実施

年度	実績(人)	対前年度比(%)	実施回数	対前年度比(%)
平成22年度	6,643	—	289	—
平成23年度	1,698	25.6%	77	26.6%
平成24年度	3,014	177.5%	113	146.8%
平成25年度	4,405	146.1%	178	157.5%

Ⅲ 受託事業の実施

1 もりの案内人養成講座運營業務

◇委託者:福島県(農林水産部森林保全課)

◇実施期間:平成25年5月15日～平成26年3月14日

◇実施内容:

◆福島県が募集し、選定した受講生17名(新規12名+継続5名)を対象に、5期15日間

の講座を開催、運営した。

- ◆第1期:平成25年6月14日～16日
- ◆第2期:平成25年7月5日～7日
- ◆第3期:平成25年9月27日～29日
- ◆第4期:平成25年11月15日～17日
- ◆第5期:平成26年1月17日～19日

財団スタッフは、講座運営のほか5教科の講師を勤めた。

2 森林ボランティアサポートセンター開設業務

◇委託者:福島県(農林水産部森林保全課)

◇実施期間:平成25年4月1日～平成26年3月31日

◇実施内容:

- ◆学校や幼稚園などの教育機関や子ども会などの団体からの依頼を受け、NPO 法人福島県もりの案内人の会などへの講師派遣要請を行った。昨年度に比べ、森林内での活動を希望する事例が増加した。
- ◆企業や森林ボランティア団体などの活動状況取材し、森林づくり情報誌(森ボラ新聞)を発行した。
- ◆ホームページを運用し、情報の提供を行った。
- ◆電話、来訪者、fax、メールによる各種相談対応や森林ボランティア活動に必要とされる機材(ヘルメットなど)の貸出を行った。

年度	ホームページ閲覧数 (件)	森林整備道具貸出件数 (件)	指導者要請依頼件数 (件)
平成22年度	45,517	20	71
平成23年度	11,858	3	17
平成24年度	58,931	9	64
平成25年度	77,879	11	75

3 鳥獣保護センター管理受託事業

◇委託者:福島県(生活環境部自然保護課)

◇実施期間:平成25年4月1日～平成26年3月31日

◇実施内容:野生鳥獣傷病鳥獣の救護活動実績

単位:頭・羽

年度	当該年度末飼育数	当該年度 収容数	当該年度 野生復帰数	当該年度 死亡数
平成22年度	102	270	83	196
平成23年度	87	238	77	176
平成24年度	88	240	84	155
平成25年度	69	166	52	133

4 福島県の森林文化公開体験事業

◇委託者:福島県(農林水産部森林計画課)

◇実施期間:平成25年6月28日～平成26年3月24日

◇実施内容:

◆福島県中通り地域(今回は安達郡大玉村中心)に存在する森林文化を、フォレストパーク あだたらビジターセンター内で展示(夏休み・春休み期間)し、夏、秋、冬、春の4回の体験プログラムを実施した。

◆夏の体験プログラム(平成25年8月9日～11日)

テーマ : 里山の竹を使って遊ぼう

参加者数 : 84名(子ども56名、大人28名)

◆秋の体験プログラム(平成25年11月4日)

テーマ : 収穫の秋と冬の準備 つるかご作り

参加者数 : 24名(子ども6名、大人18名)

◆冬の体験プログラム(平成25年12月14日～15日)

テーマ : 冬の暮らし 炭焼き体験とわら細工

参加者数 : 28名(子ども9名、大人19名)

◆春の体験プログラム(平成26年3月16日)

テーマ : 春の恵みを味わう

参加者数 : 38名(子ども19名、大人19名)

◆展示(平成26年3月1日～3月16日) 中通り大玉村周辺の森林文化(体験プログラムに関連した民具、道具など)

5 森林ボランティアリーダー育成事業

◇委託者:福島県(農林水産部森林保全課)

◇実施期間:平成25年8月16日～12月2日

◇実施内容:

- ◆森林整備に関する知識と技術・森林整備の安全確保に関する知識を備えた森林整備ボランティアのリーダーを養成する目的の講座。福島県が募集した参加者8名を対象。
- ◆救急救命法の講習(10月11日 フォレストパークあだたらにて実施)
- ◆林業機械の講習(10月15日～10月17日 福島県林業研究センターにて実施)
- ◆森林づくり講習会(11月13日～14日 フォレストパークあだたらにて実施)

6 福島県緊急雇用創出事業

◇委託者:福島県(農林水産部森林保全課)

- ◆「ふくしま県民の森活動支援業務」として受託。

◇実施期間:平成25年5月21日～12月27日

◇実施内容:

- ◆期間中、新規に2人を120日間雇用し、ふくしま県民の森の業務区域内の放射線量を測定し、県民等に対してより詳細な放射線量や安心安全に関する情報の提供など行った。
- ◆調査地点:オートキャンプ場 20ポイント(毎週)、140ポイント(6月、10月、11月)、オートキャンプ場林内 37ポイント(6月、10月、11月)、森林学習区域120ポイント(6月、10月、11月)

7 企業の社会貢献事業

◇委託者:イオングループ<イオンリテール(株)、マックスバリュ南東北(株)、イオンスーパーセンター(株)>

◇実施期間:平成25年7月10日～12月10日

◇実施内容:

- ◆期間中、ふくしま県民の森の敷地内において、森林活動が行いやすくなるよう、林内の下草刈り、除伐等を行った。

8 飯舘村 森林環境税交付金事業支援委託

◇委託者:福島県飯舘村

◇実施期間:平成25年8月1日～平成26年3月24日

◇実施内容:

- ◆いいたてっ子活動支援事業:村民のフォレストパークあだたら宿泊利用補助
利用実績 : 2件、11名
- ◆復興の森事業:「森であそぼう! いいたて村 森のしごと、あそび、復活!」
実施日:平成25年11月9日・10日
利用実績 : 参加者33名(大人14名、子ども11名、幼児8名)

IV 自主事業の実施

1 ふくしま復興支援事業

(1) ふくしま県民の森フォレストパークあだたら 平成25年度 ふくしま復興支援割引

- ◆年間を通してのオートキャンプ場利用者に対する財団独自の割引
- ◆どなたでも割引(10%割引)、団体割引(30%割引)、学校教育利用割引(50%割引)

(2) 仮設住宅避難者への温泉無料提供

- ◆大玉村にある仮設住宅や借り上げ住宅に居住する避難者を対象とした、フォレストパークあだたら温泉の提供。毎月1回実施。年間利用者数:145名。

(3) 復興支援事業・イベントなどの開催、共催

◇大玉村社会福祉協議会との共催事業

- ◆カメラ教室の開催:平成25年6月6日、10月29日、平成26年2月14日(ふくしま県民の森)
- ◆支援コンサートの開催:平成25年9月18日(レクチャーホール)
- ◆支援芋煮会の開催:平成25年10月27日(オートキャンプ場個別サイト)
- ◆灯明点灯式の開催:平成25年8月11日(ビジターセンター ロビー)

◇ライダーズナビ(公益財団法人福島県観光物産交流協会主催)事業への協力とライダーズ・ピット、ライダーズ・イン登録。県内の交流人口増加を目的。

(4) ふくしまっ子支援事業 受け入れ(7月～1月、28件、806名利用)

- ◆福島県教育庁の事業。福島県内の満1才以上の幼児、小・中学生 及び 引率者・保護者等 (東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により県外に避難している県内に在住していた方を含む)が対象。

(5) キッズスペース開設、提供(通年)

- ◆福島県屋内遊び場確保事業より福島県安心こども基金特別対策事業補助金を得て、ビジターセンター・レクチャーホール及び森林学習館の遊具を補修、無償開放

(6) 福島県の子ども支援事業 受け入れ

- ◆子どもの外遊び支援事業(NPO法人子どもの森ネットワーク):12月～2月、5件、参加者186名
- ◆浪江町津島地区育成会(浪江町立津島小中学校):7月20日(土)・21日(日) 参加者110名(大人55名、子ども55名)
- ◆うつくしまふくしま福島未来支援センター(飯舘村の子供達支援活動):6月16日、6月30日、7月14日、8月8日・9日 参加者160名(大人75名、子ども85名)
- ◆かつらおっ子絆キャンプ(セーブ・ザ・チルトレン・ジャパン東日本大震災復興支援事業):8月17日・18日 参加者74名(大人38名、子ども36名)

2 環境教育事業

(1) 災害対応キャンプ事業

◇主催:(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

◇協力:福島県キャンプ協会

◇実施場所:ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

◇実施内容:

- ◆「冒険!まなび隊」(6月29日・30日 オートキャンプ場にて 大玉村教育委員会と共催)
- ◆「三志会」(6月30日 オートキャンプ場にて 本宮市内の若手起業家グループ)
- ◆「青梅市消防団(東京都)」(10月19日 オートキャンプ場にて)
- ◆「あだたら冒険王」(平成26年3月25日・26日 オートキャンプ場にて 二本松青年会議所と共催)

(2)あだたら生物クラブ

◇主催:NPOわかば自然楽校、福島市小鳥の森、(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

◇実施日:平成25年12月7日(土)

◇実施場所:ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

◇実施内容:

- ◆昆虫の繭をテーマに、講師によるお話しと野外観察などを行った。
- ◆参加者30名

(3)森林保全推進事業

◇うつくしま21森林づくりネットワーク 事務局の引き受け

- ◆平成25年4月19日より

◇ふくしま森林・山村多面的機能発揮対策協議会 事務局の引き受け

- ◆平成25年12月24日 地域協議会設立時より

◇森林・林業関連委員会等への出席

- ◆平成25年度森林づくり検討委員会
- ◆平成25年度福島県の森林文化に係る調査検討委員会
- ◆うつくしま育樹祭実行委員会
- ◆全国植樹祭準備委員会

(4)植樹緑化事業

◇醍醐の桜 植樹会

- ◆主催:(公社)ゴルフ緑化促進会、(公社)福島県森林・林業・緑化協会、(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
- ◆実施日:平成25年4月14日(日)
- ◆実施場所:ふくしま県民の森 第1広場
- ◆内容:京都・醍醐寺のサクラのクローン苗等11本を植樹
- ◆参加者数:85名

(5) 講師派遣事業

◇福島大学「キャリアモデル学習」事業

- ◆主催: 福島大学
- ◆日程: 平成 25 年 5 月 9 日
- ◆場所: 福島大学
- ◆講師: 利用促進担当 主任主査 佐藤重敏

◇H25 年度福島県ツーリズムガイド前期研修会 講演

- ◆主催: 福島県ツーリズムガイド連絡協議会
- ◆日程: 平成 25 年 11 月 30 日(土)
- ◆場所: 国立磐梯青少年交流の家(猪苗代町)
- ◆発表者: 事務局長 弦間一郎

◇福島県災害復興プログラムセミナー事例発表

- ◆主催: NPO 法人福島学グローバルネットワーク
- ◆日程: 平成 25 年 12 月 11 日(水)
- ◆場所: (財)都道府県会館 (東京都千代田区)
- ◆発表者: 事務局長 弦間一郎

◇子ども人権フォーラム in おおたま 基調講演

- ◆主催: 大玉村
- ◆日程: 平成 25 年 12 月 11 日(水)
- ◆場所: 大玉村農村環境改善センター(大玉村玉井)
- ◆発表者: 事務局長 弦間一郎

◇2014 森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京

- ◆主催: 森林と市民を結ぶ全国の集い 実行委員会
- ◆日程: 平成 26 年 3 月 23 日(日)
- ◆場所: 東京大学 弥生講堂 (東京都文京区)
- ◆発表者: 事務局長 弦間一郎

(6) 広報活動

- ◆テレビ、ラジオ、情報誌、ネットなどへの取材、掲載
- ◆当財団ホームページにおいて、あだたら日記をはじめとする情報提供

3 調査・研究事業

自然環境基礎調査事業

◇福島大学共生システム理工学類研究生他による研究成果発表会

- ◆主催: (公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
- ◆日程: 平成 25 年 12 月 23 日(月)
- ◆場所: フォレストパークあだたら レクチャーホール
- ◆参加者数: 44名

4 FEL制度事業

◆原発事故の影響により震災前に比べ会員の更新、新規登録ともに減少している。昨年度から上昇に転じるも、平成24年度に比較し98%となっている。

5 物品販売・貸付・カフェ事業

◆オートキャンプ場利用者の増加や福島県内の状況が好転しつつあり、震災前の平成22年度の水準に戻りつつある。

◇事業収入 単位:千円(平成22年度分は、以降との比較のため税込み処理済み)

	ショップ売上(物品販売) 千円	カフェ売上 千円	物品貸付(レンタル) 千円
平成22年度	11,121	2,269	2,098
平成23年度	6,785	884	1,078
平成24年度	9,643	2,133	1,660
平成25年度	11,576	1,957	2,180

6 地域振興と社会貢献事業

地域振興

◇ライダーズナビ事業への参画

◆(公財)福島県観光交流物産協会主催のバイクライダー誘致事業への参画と県内観光地の紹介 宿泊利用者 65件、150名

◇授産施設支援

◆ビジターセンター ショップ等における県内授産施設製品の販売

◇地場製品の販売促進

◆農産物を中心とした地元製品の販売、地元食材等の紹介、活用

◇教育旅行推進委員会への参加

◆県外からの教育旅行誘致を目的とした(公財)福島県観光交流物産協会主催の事業
社会貢献(自主事業としての復興支援を除く)

◇インターンシップ受入

◆福島県立二本松工業高校(2学年生3名 9月3日、4日、5日の3日間)

◇教員研修受入

◆大玉村立大山幼稚園(副園長1名 8月2日)

◆本宮市立糠沢幼稚園(教諭2名 8月7日)